

# 中国語の日中学院 SINCE1951



本 科 (2年制中国語専門課程)  
本科学研究科 (1年制通訳翻訳課程)

入学案内

# 日中学院で中国語を しっかり学ぼう



学院長  
齋藤 法雄

日中学院は、日本と中国の国交回復がまだ実現されていなかった時期、1951年に故倉石武二郎・東大名誉教授が始められた中国語講習会から発展し、今日まで創設70年の長い歴史を持った伝統校です。創設以来のスローガンである「学好中国话, 为日中友好起桥梁作用」(中国語を学んで日中友好の懸け橋になろう!) を守り続け、学院の玄関や各教室にこの標語が掲げられています。これには、過去の戦争の過ちを繰り返すまいとの揺るぎない願いが込められています。この思いは今も多くの教員、学生、校友の心に響き続けています。

国交正常化と中国の対外開放を経て、1986年には中国からの留学生のための日本語科を設置しました。これにより学内は日本人と中国人のにぎやかな交流の場となっています。そして今日では日本政府と中国政府の共同事業である公益財団法人日中友好会館付設の専修学校となっています。

学習面では「中国語が聞ける、話せる」という実際に使える教育を重視しています。優秀な中国人講師を多数招くと共に、視聴覚教育設備や充実した図書室を完備し、夏季における中国短期留学(5週間程度)も本科学生の必須カリキュラムに組み込んでいます。

学習以外にも、中国人と日本人学生の親睦ハイキングや文化祭で演劇やコーラスを披露したりするなど楽しい思い出も満載です。日中学院で集中して中国語を学ぶ2年間は、学生の皆さんにとっては長い人生のひとつの通過点ですが、生涯学習の基礎を作り、人生の方向を決める上で極めて重要な2年でもあります。同じクラスの中で年代の違う学生たちが相互に刺激しあいながら、卒業後の進路についても考えていただきたいと思います。

日中学院を卒業した後、就職、大学への編入、中国への留学や更なる探求等、いずれの道を進まれる場合にも学院は全力を尽くして皆さんを支援します。

皆さんが充実した2年間で過ごされることを期待しています。

中国語を身につけ  
新たな仕事を  
目指す方にも!

本科から  
大学編入!



掲示板



校舎全景



講座案内

# 施設案内



ラウンジ歓談スペース



教室



ラウンジ学習スペース



2万冊の中国関係の書籍、ビデオ、DVDを備える図書室



LL教室



事務局(手前)と講師室(奥)

# 本科

(2年制中国語専門課程)

中国語を基礎から、徹底的に、本当に力のつくカリキュラム。



**本科とは** 中検2～準1級、HSK5～6級取得を目標

中国語を初歩から本格的・集中的に学び、マスターし、将来に活かしたいと考えている方のためのコースです。「聞く」「話す」を中心にオールラウンドの中国語力を養います。ゼロからでも、早い学生で1年生の6月に中検4級、11月に中検3級に合格(中には2級合格者も)、2年間でHSK5～6級、中検2～準1級取得を目指します。

中国語での授業と合わせて、日本人が苦手とするポイントを熟知した日本人講師が、日本語でもその理解をサポートするので、留学で中国語を学ぶ以上に、『速く!』、『正確に!』中国語を自分のものにできます。また、講師がいつでも待機し、質問に応じています。

**授業内容** 中国短期留学必修!

1年次では、最初に「ピンイン」の学習を通じて発音の習得につとめます。また「基礎漢語」を中心に中国語の基本文法を学び「会話」、「聴解」、「講読」でさらに総合的な基礎力を養います。社会科では中国近現代史や中国の地理・政治・社会のしくみを勉強します。

2年次では約1カ月程の中国短期留学が必修になっています。本場中国でこれまで習った中国語を試しながら、会話、リスニング力を更に高めます。通常の授業では中国の教材やオリジナル教材を用い、複雑な文型や語彙を増やし、やや高度な日文中訳や中文日訳、テーマに即した会話、HSK・ニュース・映画等幅広い題材を基にした聴解の授業を行います。社会科では現代中国が抱える諸問題についての研究、発表を通し理解を深めます。また選択科目として英語・太極拳・日本語教授法の授業もあります。

**留学生との交流** 生きた中国語を学ぶ

日中学院では、中国人講師が半数以上を占めていることや、日本語科の学生が全て中国からの留学生であるため、日頃学校のラウンジ等で身近に中国の方と知り合え、日本に居ながら生きた中国語を勉強できます。また、授業以外にも合宿、文化祭、弁論大会など留学生との交流イベントもあり、まさに日中友好の実践の場と言えます。

**専門士** 既修単位振替可能!

日中学院は1981年に東京都より「専修学校専門課程」の認可を受けた専門学校です。本科2年間の課程を修了すると、専門学校卒業資格と同時に「専門士」の称号が付与されます。「専門士」とは、短大・高専卒業者に与えられる「準学士」と並ぶ称号で、取得者は1999年より大学2・3年次への編入が可能となりました。

日中学院では既修単位の振り替えができるため、最短1年で専門士を取得できる場合もあります。

**進路** 東京外国語大学3年次編入も

卒業後は商社、旅行社、メーカー、中国関係の団体等へ就職、長期留学、本科研究科に進学などの道があります。

また、指定校推薦制度等により日本大学、大東文化大学、神奈川大学、明海大学、目白大学、麗澤大学に、一般編入で東京外国語大学、神戸市外国語大学等への編入実績もあります。さらに、中国天津外国語大学への編入の道もひらかれ、進路は様々で多岐にわたります。

# 学んだ中国語を中国で使おう！——中国短期留学

本科では中国での短期留学が必修になっています。2年次の6月下旬から7月末までの約1か月間、中国の大学で短期研修を行います。

1年生の時に基礎語彙力をつけ、文型の暗記、練習を通して中国語のストックが相当できあがっています。そしてある程度まで中国語で考えられるようになっていきます。

実際に中国に行って使ってみるのがこの留学です。大学内の留学生寮に滞在し、午前中はすべて中国語での授業、午後には、現地大学生との交流や街に出での実践会話と本場中国で自分の力試しができます。また、勉強だけでなく、市内観光や京劇鑑賞なども盛り込まれており、一般の旅行とはひと味違った生の中国を肌で感じることができるでしょう。

留学生活で、特にリスニング力と会話力に自信が付き、現代中国への理解も深まります。この中国短期留学で味わった喜びと悔しさは必ずその後の中国語学習に役立つはずです。



故宮博物院



慕田峪長城

## ●短期留学実施要項（実施については未定）

期 間：6月末～7月末（5週間予定）

留学先：中国人民大学（予定）

日 程：6月末 成田出発、北京到着

2日目以降～ 中国の大学にて中国語の研修。

会話・聴き取りに重点の置かれた授業です。授業以外に市内観光、京劇雑技鑑賞などもあります。

7月末 帰国

費 用：約600,000円（食費・交通費・パスポート取得費用及びそのための手続き料・保険料の費用などは含みません）

※費用については、1年入学時に30万円を、実費の残額を2年進級時に積み立てることになります。

また、レートや航空券、学費、宿泊費の値上げにより、不足した場合は別途徴収します。ご了承ください。

## 短期留学1日のスケジュール

午前（8:00～11:30） 授業（全て中国語）

午後 補講、市内観光、自由行動等

夜 京劇鑑賞、自習等

宿泊は大学学生宿舎、食事は大学の食堂などを利用します。

## 北京短期留学での生活

本科55期 酒井 亜由子

北京短期留学中は、毎日規則正しい生活を送っていました。朝は6時頃に起きて、中国人民大学の留学生寮から一番近い食堂に朝食を食べに行き、お粥に温かい豆乳、茶卵を好んで食べました。

8時からは授業がはじまります。勿論、説明はすべて中国語です。会話の先生は授業の合間によく楽しい話をしてくれました。私達でも理解できるレベルで話してくださるので、表現の面でも色々と言見がありました。聴解の先生は、授業の内容に即した質問でコミュニケーションをとってくれました。自分の返答がどんな質のものでも、先生が優しく対応して下さるので、正直ホッとしたことを覚えています。VTRの授業では、映画のワンシーンをクラスメイトと一緒に演じて再現するのですが、小道具や細かい動作にこだわるグループもあり、毎回楽しい時間となりました。

午後は自習に充てる日もありましたが、街に出かけることの方が多かったと思います。はじめのうちは、クラスメイトとスーパーに買い物に行ったりして、自分たちの中国語がどの程度通用するのか、どんなフレーズが伝わりやすいのかを一緒に検証しました。いくつか観光スポットを巡り、慣れてきてからは、一人で地下鉄に乗って色々な場所へ出かけました。一人で歩くと北京の街の雰囲気を感じることができて、とても嬉しい気分になりました。この感情は、学習を継続する支えとなっています。



# 既習者の方にも対応!! 1年生既習者クラス、本科編入

# 本科編入

## 本科1年既習者クラス

高校や大学等で既に中国語を勉強したことがある方や中国で生まれた方で、2年生の編入には少し力不足という方のために、1年生既習者クラスを設けています。未習者クラスと基本的な教材、進度は同じですが、補充プリント等を使って量や速度を加え、小テストや課題も増やし、更にしっかりとした基礎力の獲得を目指します。また既習者クラスには作文の授業もあります。入試の際、プレシメントテストを実施しています。(人数により1クラスになる場合もあります。)



熱のこもった授業



映画を見ながらVTRの授業

本科1年(9月、10月)

本科2年(4月)

日中学院入学前に、大学、留学、他の機関で長く中国語を学ばれた方は、本科編入(1年生9月、10月、2年生4月)が可能です。過去の既修単位が本学院の単位として認められるのです。すでに身につけている初、中級の中国語力を活かして編入すれば短い期間で効率よくレベルアップできます。

2年生に編入し、単位が振り替えられれば最短1年間で本科卒業、専門士が取得できます。単位が振り替えられない場合でも、本科2年と本科研究科の2年間で本科の単位に振り替え、本科卒業、専門士を取得することもできます。詳しくはお問い合わせください。

### ●編入生募集要項

- 出願条件: 1年生 本科出願条件に準ずる。  
2年生 本科出願条件の他に、本科1年修了程度の学力を有する者。
- 試験日程: 1年9月、10月編入生はそれぞれ8月下旬、9月中旬までに編入試験を行います。  
お早めにお問い合わせください。  
2年編入生は、本科募集要項に同じ。
- 試験内容: 1年生 レベルチェック及び作文、面接  
2年生 語学試験及び面接
- 提出願書: 本科募集要項に同じ



LL教室で聴解の授業

| 本科編入       | 1年            | 2年        |    |     | 本科研究科                                |                       |                             |
|------------|---------------|-----------|----|-----|--------------------------------------|-----------------------|-----------------------------|
| フローチャート    | 4月            | 7月        | 9月 | 10月 | 3月                                   | 4月                    | 3月                          |
| 1年9月・10月編入 | (前期の単位振替)     | 編入        | 編入 |     | 1年6ヶ月又は7ヶ月履修                         | 取得<br>本科卒業専門士         |                             |
| 2年編入       | ○既習単位振替可能な場合  | (1年の単位振替) |    |     | 編入<br>1年履修                           |                       |                             |
|            | ○既習単位振替不可能な場合 | ・1年間のみ    |    |     | 編入<br>科目履修生として1年履修                   | 本科卒業レベルに<br>本科卒業専門士なし | 本研進学<br>本科2年の単位に振替          |
|            |               | ・2年間      |    |     | ①本科専門士取得コース<br>編入<br>本科1年の単位に振替      |                       | 本研進学<br>本科2年生履修、<br>本科研究科卒業 |
|            |               |           |    |     | ②専門士不要、本研卒業コース<br>編入<br>科目履修生として1年履修 |                       |                             |

※科目履修生と正規学生の相違点

1. 資格について……卒業・専門士資格はありません。本科から修了証のみの発行になります。
2. 証明書の発行……在学証明書のみ発行で、その他の証明書は発行しません。
3. 奨学金について……公的奨学金・学院私設奨学金の対象にはなりません。

学生証は発行しますので、学割の申請はできません。

# 1、2年生のカリキュラム

## ● 学期区分

前期 4月10日～9月30日 夏休み 8月1日～8月31日  
 後期 10月1日～3月20日 冬休み 12月21日～1月9日  
 春休み 3月21日～4月9日

## ● 授業時間

月～金 午前9時～午後1時10分（午後2時30分）

## 1年生時間割（例）

|  | 月              | 火    | 水    | 木    | 金              |
|--|----------------|------|------|------|----------------|
| 第1・2時限<br>(9:00～9:45<br>9:45～10:30)    | 社会Ⅱ<br>(現代中国論) | 基礎漢語 | 基礎漢語 | 基礎会話 | 社会Ⅰ<br>(現代史概論) |
| 第3・4時限<br>(10:45～11:30<br>11:30～12:15) | 聴解基礎           | 基礎漢語 | 基礎会話 | 基礎漢語 | 基礎漢語           |
| 第5時限<br>(12:25～13:10)                  |                |      | 基礎漢語 | 基礎漢語 |                |
| 6・7時限<br>(13:30～15:00)                 |                | 講読演習 |      |      |                |

## 2年生時間割（例）

|  | 月                        | 火           | 水    | 木             | 金    |
|--|--------------------------|-------------|------|---------------|------|
| 第1・2時限<br>(9:00～9:45<br>9:45～10:30)    | 応用漢語                     | 会話Ⅰ         | 応用漢語 | 聴解Ⅰ<br>(ニュース) | 応用漢語 |
| 第3・4時限<br>(10:45～11:30<br>11:30～12:15) | 作文                       | 聴解Ⅱ<br>(映画) | 講読演習 | 社会            | 会話Ⅰ  |
| 第5時限<br>(12:25～13:10)                  |                          | 会話Ⅱ         |      |               | 会話Ⅱ  |
| 6・7時限<br>(13:30～15:00)                 | 選択科目<br>(日本語教授法<br>(英語)) |             |      | 選択科目<br>(太極拳) |      |

## 状況によりオンライン授業にも対応します！

新型コロナウイルス感染症拡大等により、通常授業が難しい状況では、一部Zoomによるオンライン授業を行うことが可能です。また、休校により授業時間が不足した場合でも、夏休みや年度末等で学習時間を確保します。

## ● 使用教材

1年次…教材は主に上海華東師範大学編「基礎漢語40課」やオリジナル会話教材を使い、ゼロからのスタートで「読む」「聞く」「話す」「書く」の基礎力を養っていきます。

2年次…1年次に身につけた基礎をもとに、主に中国で出版されているテキストやオリジナル教材を使用し「日文中訳」「講読」「会話」「聴解」などの応用力を養います。また選択科目を通し、中国文化への理解を深めていきます。

## ● 取得単位

| 1年次単位取得科目 |    |         |    | 2年次単位取得科目 |        |         |    |
|-----------|----|---------|----|-----------|--------|---------|----|
| 科目        | 単位 | 科目      | 単位 | 科目        | 単位     | 科目      | 単位 |
| 中国語発音基礎   | 2  | 基礎会話Ⅰ   | 4  | 応用漢語Ⅰ     | 6      | 作文Ⅰ     | 2  |
| 基礎漢語Ⅰ     | 10 | 基礎会話Ⅱ   | 4  | 応用漢語Ⅱ     | 6      | 作文Ⅱ     | 2  |
| 基礎漢語Ⅱ     | 12 | 中国現代史概論 | 2  | 応用会話Ⅰ     | 4      | 聴解演習Ⅰ   | 4  |
| 講読演習Ⅰ     | 2  | 中国社会概論  | 2  | 応用会話Ⅱ     | 4      | 聴解演習Ⅱ   | 4  |
| 講読演習Ⅱ     | 2  | 現代中国論   | 2  | 講読演習Ⅲ     | 2      | 中国社会研究Ⅰ | 2  |
| 聴解基礎Ⅰ     | 2  | 日中文化史   | 2  | 講読演習Ⅳ     | 2      | 中国社会研究Ⅱ | 2  |
| 聴解基礎Ⅱ     | 2  |         |    | 短期留学      | 4      |         |    |
|           |    |         |    | 選択必修科目    |        |         |    |
|           |    |         |    | 英語        | 日本語教授法 | 太極拳     | 4  |
| 1年次合計     |    | 48単位    |    | 2年次合計     |        | 48単位    |    |



会話では通訳の練習も



ニュースを教材とした聴解の授業

# 本 科 学 生 の 声



Xiǎozé Bùshí  
**小澤 歩実** 同学

高校卒業

日中学院本科

私は高校卒業後、母国語以外の言語を理解し、話せるようになりたいという思いでこの日中学院に入りました。中国語は0からのスタートだった為、入学前は授業についていけるか、学生の年齢層も幅広い為、同級生と上手くコミュニケーションがとれるかなど本当に不安でいっぱいでした。ですが、実際に入学してみるとクラスは少人数な為、話しやすく、分からない部分も聞きあったり、教えあったりして一緒に学ぶことができます。授業の最初は発音練習から始まり、それから徐々に文法などを学んでいきます。先生たちは1つ1つ丁寧に教えてくれるので難しい部分も理解しやすいです。

ここで学ぶのは言葉だけではなく、中国の文化や歴史も学ぶことができ、より一層中国に対する知識や異文化への理解も深まります。また、授業の中で先生達が話してくださる豆知識や習慣、体験談などからも様々な事を知ることができてとても面白いです。

私が勉強する中で1番大変だと感じるのは暗記ですが、毎日コツコツ勉強すれば必ず身につきます。短い文でも初めて理解出来た時はなにより嬉しかったです。この気持ちを忘れずに来年度も日々学習に励んで行きたいと思います。

中国語未習者の人は  
本科1年生未習者クラス

大学で  
中国語を学ぶ

日中学院本科

Tōngkǒu Huālí  
**樋口 花梨** 同学



私は大学生の時に趣味程度で中国語を勉強していたのですが、勉強を進めるうちにもっと本格的に身につけたいと思うようになり、中国語が勉強できる学校を探していました。私は語学を勉強する上で、先生との距離が近く分からないことをすぐ質問できるような環境が理想的だと思っていたのですが、日中学院の授業見学に訪れた際、少人数制で先生が生徒一人一人に丁寧に指導を行う様子を見て、直ぐに入学を決めました。実際に入学し授業を受ける中で、とにかく生徒に対する学習指導の手厚さを実感しています。例えば、中国語の習得において難しいポイントのひとつである発音の指導では、先生が生徒各々の発音をチェックしてくださるので、自分の苦手な部分や癖を明確に捉えることが出来ます。大学時代、大きな教室で大人数に対して行われる中国語の授業を経験したことのある私からすると、自分専用のアドバイスをもらえるということ自体が衝撃で、とても嬉しかったです。

日中学院は普段から生徒同士や先生との距離がとても近いので、学習面で困ったことがあれば直ぐに誰かに相談出来る環境ですし、みんなで助け合いながら学習を進めることができます。進学が近づくにつれ学習内容もだんだん難しくなっていますが、先生方の力をお借りし、クラスメイトと支え合いながら、これからも頑張っていきたいと思います。

中国語を学んだことがある人は  
本科1年生既習者クラス



Yǒngtián Měimǎo  
**永田 美卯** 同学

主婦を  
しながら

日中学院本科

私の主人は台湾の方です。主人は日本語が話せますが、彼の家族や友達と会った時などにはコミュニケーションがとれず、もどかしい思いをしていました。最初は語学学校への入学は考えていなかったのですが、「中国語を1日でも早く話せるようになりたい」と思い切って一度仕事を辞め、勉強に専念することに。大学卒業後、社会人として10年近く働いてからの入学だったため、クラスメイトと関係が築けるか心配でしたが、年齢や社会経験の有無など様々でもみな仲良く楽しくやっています。

入学前の中国語の学習経験は全くの0!「ピンイン」「声調」という言葉も入学後に知りました(笑)正直最初は(今も)苦労することが多く、めげそうになることもあります。一緒に頑張る仲間があるので、怠けずに勉強に集中することが出来ています。少人数なので質問もしやすく、先生方が一人一人をしっかり見てくれているのを感じます。

周りから「たった1年でそんなに話せるようになるなんてすごい!」と言われますが、自分が一番驚いています。最近、主人や主人の友達と簡単な中国語で話したり、メッセージのやり取りをしたり出来るようになり、もっともっと中国語のレベルを上げたい!という気持ちになっています。

生涯学習として  
本科一年生で新たなスタート





Jiāzhì Yǒngzǐ  
加治 詠子 同学

別科で  
中国語を学ぶ

日中学院本科

私は別科の基礎コースに入学して中国語の基礎を勉強し、本科2年生に編入しました。編入にあたり最も不安だった事はやはり学習面においての事で、1年の間週に5日しっかりと学んで来たクラスに入りついて行けるのだろうかという心配がありました。日中学院本科では基礎的な文法はもちろん、聴解、会話、中国史など様々な方面から学習します。編入してみると、やはり自分の会話力、リスニング力の足りなさを痛感しました。

しかし毎日の様に中国語を耳にする環境に身を置き、クラスメイトに助けをもらいながら日々を過ごしていると、進度は遅くても確実に自分に力が付いていると実感出来る様になりました。クラスメイトの年齢層も幅広く、しかし中国語を学ぶという同じ目標を持った仲間として和気藹々と過ごす事が出来ました。イベントも多いので絆が深まるきっかけも多いと思います。

先生方もとても親身になってくださり、もちろん厳しい事もありますが、褒める時にはすごく褒めてくださるのでもっと頑張ろうというやる気に繋がります。また、わからない事があっても質問しやすい環境と雰囲気なので、わからないままにならない事もとても有り難いです。それぞれの科目で課題が出され、予習も必要なので大変ではありますが、しっかりと中国語の土台を身につけるにはこの上ない環境であると思います。

基礎を学んだ人は  
本科2年生に編入

大学で  
中国語を学ぶ

日中学院本科

Shàngxī Qǐ  
上西 啓 同学



私は大学院で中国の経済史を研究しています。このように書くと、自在に中国語を操れて当然のように思われるかもしれませんが、私の場合、大学の第二外国語として中国語を学んだ後、体系的な勉強を怠っていたために、日中学院に編入する前は、「読む」上では辞書を多用すれば、どうにか文章の意味は取れるものの、「書く」「聞く」「話す」ことはさっぱりという状況でした。中国について研究している以上、現地の大学に留学したいという思いはあったものの、このままでは研究はおろか、現地での生活もおぼつかないという危機感を覚え、日中学院の門を叩きました。

いざ、授業が始まってみると、中国語を上達させるための環境が日中学院には揃っていました。すべての授業が予習を前提に進められ、期中・期末には試験もあるため、授業の時間外でも否応なく中国語と向き合う日々が続きます。講師の先生方は、読解・作文・会話などいずれの授業においても、「なんとなく」答えることを許さず、問題がある場合には、きちんと理由を説明した上で、間違いを逐一指摘して下さいます。正しい中国語にできるだけ多く触れることが上達への近道であるとするならば、日中学院のカリキュラムはその道に沿いながら組み立てられていると言えるかもしれません。

日中学院に入学したからといって、何の苦勞もなしに見る見るうちに成果が上がるわけではもちろんありませんが、真剣に中国語を身に付けたい方にとっては、間違いなく爽りの多い環境だと思えます。

基礎を勉強した人は  
本科2年生に編入

## 講座選択履修制度 本科の授業を1科目でも履修できる!!

○履修可能な科目(予定) 本科2年(1年間)

| 科目名             | 曜日 | 時間          | 内容   |
|-----------------|----|-------------|--|
| 講読演習            | 水曜 | 10:45~12:15 | やや複雑な中国語の文章を日本語に訳しながら、中国語の文法や語句の使い方を確認します。事前にレベルチェックがあります。         |
| 聴解演習Ⅱ<br>(映画)   | 火曜 | 10:45~12:15 | 中国の映画・ドラマ・アニメ等を見ながら、リスニング力を高めるとともに、セリフの中の中国語も学びます。事前にレベルチェックがあります。 |
| 聴解演習Ⅰ<br>(ニュース) | 木曜 | 9:00~10:30  | CCTVのニュースを聞き取る練習をし、速度に慣れ単語を増やすことを目指します。事前にレベルチェックがあります。            |
| 日本語教授法          | 月曜 | 13:30~15:00 | 外国人に日本語を教えるための知識、技術を学びます。  |
| 太極拳             | 木曜 | 13:30~15:00 | 1年間で、陳式24式を学びながら心身を鍛えます。   |

科目、回数は年度によって異なります。詳しくはお問い合わせ下さい。

# 本科 研究科

(1年制通訳翻訳課程)

さらに一步夢に近づくため、即戦力になる力をつける。



## 研究科とは 仕事で使える実践的な中国語を

中国語の基礎はすでにマスターし、より深く中国を知り、その力をベースに仕事をしていきたいと考えている方のためのコースです。

本学本科2年卒業又は大学中文科卒業程度、留学経験者などに最適です。

## 通訳翻訳の基礎力養成 少人数セミナー形式

授業は少人数セミナー形式で行われ、通訳Ⅰ、通訳Ⅱ、翻訳Ⅰ、翻訳Ⅱ、異文化コミュニケーション、総合力アップの6科目を通し、通訳、翻訳の基礎力を養成します。

どの科目も課題量が多く、中国語漬けの厳しい環境の中で、集中的に訓練し、更なるレベルアップを図ります。

また、就職後、即戦力になれるよう実践と結びついた密度の濃い授業を行います。授業は通訳案内士試験対策にも通じる内容で、在学中に通訳案内士試験に合格する学生もいます。

## 科目ごとの受講可能 大学とのダブルスクールも

6科目の中から、自分が苦手としている分野や伸ばしたい方面の授業のみを選択受講できます。月曜から土曜まで毎日通うのは難しい方でも研究科の専門的な授業を履修できます。大学等とのダブルスクールも可能です。

## 実習 通訳・翻訳を実体験

一定の実力を備えた学生には年に数回、展示会や交易会、観光案内、翻訳補助などの実習があり、実際の現場で力試しができます。また、通訳、翻訳のアルバイトの求人もあり、授業以外でも実践的な力をつけることができます。

## 就職 中国関係の各分野で活躍

卒業生の多くが中国関係の仕事に就いています。貿易商社、旅行社、航空会社、銀行、メーカーと業種はさまざまですが、卒業生は即戦力として各方面で活躍しています。

# 研究科のカリキュラム

## 授業内容

### ○【月】総合力アップ

中国語の成語、諺やその根幹である古典に触れ、現代中国語文法整理、表現力アップ等総合力を伸ばす。

### ○【火】翻訳Ⅰ（中文日訳）

小説、エッセイ、字幕、新聞、ビジネス文書等多様な中国語を正しく理解した上で、分かり易く美しい日本語に仕上げる力を養成する。

### ○【水】通訳Ⅱ（日文中訳）

スピーチやニュースなどを用い、通訳の基礎知識を学び、洗練された中国語の表現力と通訳スキルの向上を図る。

### ○【木】翻訳Ⅱ（日文中訳）

新聞、物語、エッセイ、契約書等の翻訳を通し、中国語の文法を固め、書面語表現を習得し、自然な中国語翻訳のテクニックを学ぶ。

### ○【金】通訳Ⅰ（中文日訳）

ビジネス、ニュース、生のスピーチ等を用い、中国語から日本語への通訳メソッドを通じて、リスニング力のアップを図り、瞬時に自分の言葉に言い換える、要訳するなどのトレーニングを行う。

### ○【土】異文化コミュニケーション

中国と日本の社会、文化、時事問題を取り上げ、共通点と相違点を確かめながら、相互理解に関する発表の訓練をし、双方向のコミュニケーション力を養う。

## ●学期区分

|    |             |     |             |
|----|-------------|-----|-------------|
| 前期 | 4月10日～9月30日 | 夏休み | 8月1日～8月31日  |
| 後期 | 10月1日～3月20日 | 冬休み | 12月21日～1月9日 |
|    |             | 春休み | 3月21日～4月9日  |

## ●授業時間

月～土 午前9時～午後12時15分

## ●本科研究科 時間割(例)

|                       | 月          | 火             | 水             | 木             | 金             | 土                    |
|-----------------------|------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------------|
| 第1・2時限<br>9:00～10:30  | 総合力<br>アップ | 翻訳Ⅰ<br>(中文日訳) | 通訳Ⅱ<br>(日文中訳) | 翻訳Ⅱ<br>(日文中訳) | 通訳Ⅰ<br>(中文日訳) | 異文化<br>コミュニ<br>ケーション |
| 第3・4時限<br>10:45～12:15 |            |               |               |               |               |                      |

通訳コース…通訳Ⅰ（金）、通訳Ⅱ（水）

翻訳コース…翻訳Ⅰ（火）、翻訳Ⅱ（木）

科目選択履修は6科目の中から自由に選択できます。

## ●取得単位

| 本研単位取得科目            |    |                     |    |
|---------------------|----|---------------------|----|
| 科目                  | 単位 | 科目                  | 単位 |
| 通訳Ⅰ<br>(中文日訳) 前期    | 4  | 通訳Ⅰ<br>(中文日訳) 後期    | 4  |
| 通訳Ⅱ<br>(日文中訳) 前期    | 4  | 通訳Ⅱ<br>(日文中訳) 後期    | 4  |
| 翻訳Ⅰ<br>(中文日訳) 前期    | 4  | 翻訳Ⅰ<br>(中文日訳) 後期    | 4  |
| 翻訳Ⅱ<br>(日文中訳) 前期    | 4  | 翻訳Ⅱ<br>(日文中訳) 後期    | 4  |
| 異文化<br>コミュニケーション 前期 | 4  | 異文化<br>コミュニケーション 後期 | 4  |
| 総合力アップ<br>前期        | 4  | 総合力アップ<br>後期        | 4  |
| 合計                  |    | 48単位                |    |



日文中訳の授業



通訳の訓練

# 本 研 学 生 の 声



Jítián Jùnyòu  
吉田 峻祐 同学

日中学院  
本科

日中学院本科研究科

私は大学時代に第二外国語として中国語を学んでいましたが、卒業後は特に中国語とは関係ない仕事をしていました。日中学院への入学を決めたきっかけは、たまたま仕事で飯田橋を通りがかった時に看板が目に入り、詳しく調べていくうちにもう一度ちゃんと中国語を学び直したいと思ったからです。本科では、発音の基礎からしっかり学び、宿題も多く、予習復習をきちんとこなしていく必要があるのですが、いかに大学時代は中国語をいい加減に学んでいたのかと思い知らされました。

本科卒業後は留学を考えていました。中国は9月入学なので、卒業から9月までの半年間だけ研究科に在籍できるかを先生方に相談していましたが、研究科へ進学するなら1年間ちゃんと学んだ方がいいというアドバイスと、そもそも今年度はコロナの影響で留学どころではなくなったということもあり、研究科で1年間学ぶことに決めました。結果的に研究科で1年間学ぶことができ良かったと思います。研究科の授業は、月曜から土曜まで毎日3時間程度ですが、本科以上に内容が濃く、宿題も増えているので、授業時間以上に中国語漬けの毎日になります。予習復習に追われる毎日はとても大変ですが、その分、中国語のレベルアップにつながると感じています。日中学院で中国語を学んだ3年間は、とても充実したものでした。卒業後も中国語学習を継続するだけでなく、ここで学んだことを活かしていきたいと考えています。

就職に有利な実力を養成する  
本科研究科

大学で  
中国語を専攻

日中学院本科研究科

Tiānyě Měizi  
天野 美子 同学



この学校に入ろうと決める前は大学4年の時で、大学院へ進学することに決めていました。そんなある日、大学構内に置かれた日中学院のパンフレットを見て、この学校に興味を湧き、さっそくホームページを見て資料を取り寄せました。それから大学院進学か日中学院かで迷い、悩んだ結果この学校に決めました。

私は実践的な中国語や書面語を扱う能力、また自分の考えたことを中国語で表現できる力を身につけたいと思い、日中学院本科研究科に入学しました。大学で4年間中国語を学び、基礎はできていたので研究科を選びました。授業に出てから驚いたことは大学の授業とは比べ物にならないほど中国語が飛び交っているところです。そして、学んでいくうちに日本語の重要性にも気づかされました。授業中や課題でどういう意味なのかは分かるのに、日本語が出てこない時が多々あってまだまだ勉強不足だなと感じています。また、先生が授業の中で仰った「外国語がどんなに上達しても、母国語を超えることはできない。」という言葉は正にその通りだなと今さらながら気づかされました。この言葉を肝に銘じて勉強していきたいと思いました。研究科は月曜日から土曜日の9時から12時15分まで毎日3時間ちょっとしか授業時間がないのですが、内容がとても濃いので新しい知識を学ぶことができます。そして、ここで学んできたことはこれからずっと力となって支えてくれると思います。

使える中国語をめざす  
本科研究科

# 私達と一緒に学びましょう! — 講師紹介



張 蕾

本科・本研担任  
本科1年基礎漢語、2年聴解、  
VTR、応用漢語、本研通訳 I



莎菽蓉

1年基礎漢語、2年会話  
本研通訳 II



岩井伸子

本科1年基礎漢語  
聴解



劉笑梅

本科2年応用漢語、英語



小金井京子

本科1年・2年講読



林 曙

本科1年基礎漢語、会話



金鮮榮

本科2年作文  
本研通訳 II



蔡 娟

本科1年基礎漢語



張武静

本科1年社会 II  
本研異文化コミュニケーション



張小兵

本研総合カアップ



太田奈緒未

本研通訳 I



梶田雅美

本科2年社会



古谷 創

本科1年社会 I



森嶋みす美

本科2年太極拳



二ノ神正路

日本語教授法

# 1年間のいろいろなイベント — 留学生との交流も

4月  
入学式



学院長挨拶、講師紹介、  
歓迎演奏



グループごとに学習会&交流会



スポーツ大会

5月  
合同合宿



夜は発表会&レクリエーション

7月  
短期留学



午前はオール  
中国語の授業

午後や週末は  
自由に北京散策



10月  
文化祭



中国点心の模擬店



2ヶ月かけて練習した中国語劇



1月  
弁論大会



中国語で自分の考えを発表します

3月  
卒業式



それぞれの道での活躍を祈ります



# 進路

卒業後の進路は、就職、大学編入、中国長期留学等さまざまです。

日中学院では、本科生・本科研究科生を対象に進路指導を行なっています。クラス担任、講師と進路担当職員が密接な連携のもとに進路指導に当たっています。

現在の社会の状況を知る手がかりとするために、就職セミナー、先輩を囲んでの進路懇談会、個人面接を行ない、進路決定の一助になるよう協力しています。

## 就職

### 高い語学力は就職に強い！

中国が日本の最大の貿易相手国となり、日中間の経済活動はますます盛んになっています。このような中、企業から高い中国語力を備えた本学院学生へのニーズは高く、毎年多方面から急募、アルバイトを含め多くの求人票が寄せられています。特に近年、中国人観光客増加に伴い、小売業や接客業での求人が増えています。

#### ●主な就職先（順不同）

##### ①金融関係

中国銀行  
中国工商銀行  
中国交通銀行  
マーチャント・サポート株式会社

##### ②商社 卸売

朝陽貿易株式会社  
三通国際商事株式会社  
株式会社ティー・オー食研  
株式会社テンダイ  
日信国際株式会社  
日本興産貿易株式会社  
萬来フーズ株式会社  
貿易開発株式会社  
山野貿易株式会社  
株式会社吉田号

##### ③航空 運輸

中国国際航空公司  
恒大産業株式会社  
コスコ・コンテナライズジャパン株式会社  
コスコ・ジャパン株式会社

##### ④旅行 サービス

株式会社アサヒホリディサービス  
亜細亜国際交流株式会社  
株式会社エムエスツーリスト  
コミックリズ株式会社  
シエルツーリスト株式会社  
全日空国際旅行社（中国）有限公司  
香港中旅日中旅行社株式会社  
銀座日新堂  
ANA 中部空港株式会社  
ワーナー・ブラザーズジャパン合同会社

##### ⑤メーカー

玉川衛材株式会社  
株式会社日中通信社  
日本スーパーマップ株式会社  
日本トムソン株式会社  
林フェルト株式会社

##### ⑥コンピューター 通信

Google北京  
株式会社日本ウィクレソフト・ジャパン  
方正株式会社  
人民中国雑誌社東京支局

##### ⑦団体他

外務省在外公館派遣員（上海、香港）  
中国大使館領事部  
中国帰国者支援交流センター  
日本中国友好協会

## 就職者の声

### 在上海日本総領事館に派遣

本科研究科50期 三浦 龍馬



私は在上海日本総領事館の派遣員に合格し、2年間上海で働く予定です。担任の張蕾老師に中国語面接の練習をしていただいた以外にも、日々の授業で学んだこと全てが、就職活動の結果に繋がったと感じます。

日中学院での1年間は課題に追われる毎日でした。特に卒業後に就職を目指す方にとっては、就職活動と並行しての学習は大変かと思います。「完璧は目指さず、できるところまで全力で取り組む」ことを意識して、なるべく早い段階で、何曜日にもどの課題をやる、ということを決めることをお勧めします。私は学習開始時には全てを完璧に暗記しようと意気込んでいましたが、早々にそれではうまくいかないと考え、6割程度の完成度でもいいからとにかく課題をこなすことを大切にしました。1回で完璧にしようと思わず、「学而時習之，不亦说乎」の精神で復習したのが自分に合っていたようです。授業では毎日一緒に学習するクラスメート以外にも、科目履修生の皆さんと切磋琢磨することができました。様々な世代の学生がいるからこそ、文章ひとつとっても訳し方や解釈に新しい発見があり、非常に勉強になりました。

なかなか大きな変化が見えづらい語学学習ですが、研究科でしっかりと学習できれば、1年後にはきっと自分の夢へのスタートラインに立てるはずですよ。

## 長期留学

### 本場中国でブラッシュアップ

日中友好交流の発展にともない、中国留学希望者も増えています。「中国語」の社会に身を置くことによって、「聞く・話す」能力を高めるとともに幅広く知識を得ることができます。本学院では、1979年の3名を端初に現在まですでに200名以上の学院生が中国へ留学しています。留学生は本学院で学んだ基礎の上に、おもに現代中国語を学ぶのが一般的ですが、そのほかにも中国文学、中国史、政治経済などの専門分野を学ぶ学生もいます。

#### ●天津外国語大学本科編入制度

天津外国語大学は多言語、多学科で、中国で最も早く設立された外国語専門の8大学の一つです。「天津外国語大学と日中学院が実施する2+2方式による大学正規教育協定書」に基づき、日中学院が推薦する成績優秀な学生は天津外国語大学本科に編入することができ、課程を修了すれば学士号が授与されます。

#### ●過去の主な留学先

|        |           |
|--------|-----------|
| 中国人民大学 | 北京語言大学    |
| 北京師範大学 | 首都師範大学    |
| 北京大学   | 北京第二外国語学院 |
| 對外經貿大学 | 南開大学      |
| 天津師範大学 | 天津外国語大学   |
| 華東師範大学 | 上海財経大学    |
| 黒龍江大学  | 東北師範大学    |
| 華南師範大学 | 雲南大学      |



## 大学編入

指定校推薦で直接大学3年に編入!!  
一般編入で東京外国語大学へも!!

日中学院では、指定校推薦制度等により学院卒業後直接大学3年に編入することができます。入試の形式は様々ですが、日中学院の成績が大学の単位として認められるのです。日中学院で2年間中国語を習得し、その後大学に編入し2年間で学士学位が取得できます。高校卒業から同じ4年間で大学を卒業できるわけです。この場合、直接大学に進学した学生より、中国語のレベルは、ずっと上になっています。高校生には特にお勧めな道です。

東京外国語大学言語文化学部言語・情報コース3年へも一般編入が可能で、合格者を輩出しています。

2017年度より日本大学へ  
推薦編入可能!!

2007年度より東京外国語大学へ  
一般編入可能!!

### 日中学院より推薦編入等可能な大学

- ・日本大学文理学部中国語中国語文化学科
- ・大東文化大学外国語学部中国語学科
- ・神奈川大学外国語学部中国語学科
- ・目白大学外国語学部中国語学科
- ・明海大学外国語学部中国語学科
- ・麗澤大学外国語学部中国語専攻

上記以外の大学でも一般入試で編入可能です。

### 過去の編入合格実績

|         |          |
|---------|----------|
| 東京外国語大学 | 神戸市外国語大学 |
| 京都外国語大学 | 愛知大学     |
| 桜美林大学   | 神奈川大学    |
| 杏林大学    | 大東文化大学   |
| 帝京大学    | 名古屋大学    |
| 日本大学    | 目白大学     |
| 明海大学    | 麗澤大学     |

日中学院で中国語習得(1年~2年)・・・**専門士取得**



大学3年に編入(2年間) ..... **学士学位取得**

## 大学編入生の声

### 東京外国語大学3年次編入

本科53期 謝 遠寧

ほんの短い間とはいえ、かつて営業職で外回りをしていたことがあり、方々歩き回って訪ねた内の一軒に中国人の住むお宅があった。中から出てきたのは、如何にもといった感じの、中国の田舎によくいそうな風貌をしたおばあちゃんだった。もちろん日本語はわからない。今息子がいないのでちゃんと対応できなくて申し訳ないといった意味合いのことを言っていた気がする。相当訛っていた。今思い返してみればよく聞き取れたものだとながら驚いている。だが何よりも、その時ショックだったのは、すみませんご迷惑おかけしましたという中国語が私の口から出てこなかったことだ。少なくとも10代の頃なら問題なく言えていたはずのフレーズである。

はじめは何とも思わなかったが、仕事から帰ると、不意に悔しさをやたら溢れ出してきて、自分にえらく落胆していた。こんなにまで中国語のレベルは落ちてしまったのか、と。このままではいけないという考えがその時から段々と高まるようになった。それから数週間と経たないうちに、あれよあれよと日中学院に入学し、今では大学に編入が決まったのだから人生わからない。結果的に、あの時の出来事が中国語を再勉強しようという契機になったのだと思う。名も知らぬおばあちゃんに感謝である。

ちなみに東京外国語大学の編入試験にあたっては、通常の授業で苦勞していたり、或いは満足している程度では到底話にならないので、私の場合は日頃から中国語で書かれているニュースやコラム、小説、随筆等を読んだり、中検1級レベルの作文(日文中訳)を練習しては先生方に添削してもらっていた。特に後者は相当私の語学力の向上の手助けになったと思うので、先生方にはただただ感謝の気持ちでいっぱいである。

## 大学編入生の声

### 東京外国語大学3年次編入合格

本科52期 同学

日中学院には、まずは焦らず中国語の音韻体系を体得しようというポリシーがある。正確な聴力と発音を身に付けられれば、知識の吸収スピードや定着力も自ずから向上し、効率良く学習できるという事だ。私は中国語学習経験が全く無い状態で入学し、仕事をしながら通った。四声や拼音と言うシステムがある事も知らず、入学当初は発音など惨憺たるものだったが、熱心な教師陣の薫陶を受け非常に進歩できた。1年秋には中検2級、2年春には中検準一級一次試験、HSK6級230点等取得したが、日中学院で「本物」の中国語に触れて学べば、実力は自然に伸びていく。

再び大学で学ぶ事は入学当初全く考えていなかった。私は完璧な中国語能力を手に入れる事だけを目標に学習を始めたが、結局は真に高次の中国語理解を手にするには種々の研究が必要だと分かり、2年の春頃目指し始めたものだ。精緻に字を配列し簡潔な文面に果てし無い奥行きを与える中国語の奥妙に少しでも近づき、そして言語の持つ本当の作用、即ち人の心を揺り動かすに至る強さを備えた中国語を書けるようになれば、まさに限りない喜びだろう。日中学院ではスピード感を持って学習を進められるから、一般的な学習では到達できない領域はどんなものか、その為にはどうした分野の研究が必要なのか、見極めるのに十分な水準に余裕を持って到達できる。ぜひ何も考えず日中学院に飛び込んで、思い切り中国語を楽しんでみよう。無論、そうして編入が必要だと分かった時には、先生や先輩が熱心に助けてくれる文化がある。

# 業種別卒業生の声



Zhōngcūn Yǔzhìzǐ  
**中村 予至子** 同学

日中学院  
 本科

留学

通訳

幼い頃から世界を飛び歩くような仕事をしたいと思っていたのと、所謂中国ブームに後押しされた私はちょっとした紆余曲折の上、日中学院で中国語を学ぶことにしました。本科では、四声も覚束ない頃から教えて日本語を使わない授業も一部ありましたが、兎にも角にも只ひたすら、がむしゃらに意味を理解しようとしていたあの頃の経験は、今でも色々な現場で役に立っています。フリーランスの通訳という立場は、その時だけある仕事に参加するとういう、あくまでもテンポラリーな役割しか担えない事が多いので、一連の流れの中で仕事全体を把握することは殆どできません。けれども、普通の生活をしていたら会うことのない、この先もう二度とお目にかかれないうる分野のエキスパートやスーパースターと同じ空気を吸える空間に立つこともあります。プロがプロと称される所以を肌で感じ、自己研鑽の糧とできる素晴らしいチャンスに恵まれるという得難い経験は何物にも代えられません。残念ながら実際にはその度に自己嫌悪に陥る悲しい状況ではありますが…。通訳といっても様々で、個人的には現場通訳みたいな、機械では難しいと思われる、生身の声と空気と温度を感じながら行われる通訳が好きです。もちろん通訳の現場で自分の発言をすることはあり得ませんが、中国語という工具を持った異文化コミュニケーションツールとしての役割を担うことができるよう、これからも努力していきたいと思ひますし、そして何よりも、これら様々な気付きを与えてくれた日中学院には今でも心から感謝しています。

日々中国語漬け  
 通訳・通訳ガイドとして活躍

日中学院  
 本科

航空会社

Shānqí Xiǎnwú  
**山崎 顕吾** 同学



羽田空港国際線ターミナルの地上職員をしています。一口に空港の地上職員と言っても様々な職種がありますが、わたしは航空会社のREPというものをしています。REPなんて聞いたことがないかもしれませんが、これはrepresentativeの略で、代表者を意味します。つまり、航空会社の代表者、ということ。空港で外資系の航空会社のチェックインカウンターや搭乗口に行くと、1人や2人、まわりの職員と違う制服を着ている職員がいるかと思いますが、それがREPです。外資系の航空会社のほとんどは現場に自社の職員（REP）を数人しか置いていません。チェックインなどのハンドリング業務はハンドリング会社に委託しています。

さて、REPの仕事内容ですが、多岐にわたるため一言では言い表せません。

具体的には、日常的にチェックインカウンターで中国語を必要としている旅客の対応をしたり、機内乗務員に旅客の情報を伝達したりしています。委託しているハンドリング会社のスタッフは英語ができて中国語はできない方がほとんどです。中国語が必要となる場面での仕事が多いです。

また、機材に不具合があった場合などの緊急時には、北京本社と連絡をとります。もちろん中国語です。電話やメール、微信など様々なツールを使って外部とコミュニケーションを行いますが、その際、スピードや正確さが求められます。

クレーム処理など苦勞する面も多々ありますが、やりがいのある仕事です。

日々中国語を生かして  
 中国国際航空公司



Mùténg Nàibǎozǐ  
**木藤 奈保子** 同学

日中学院  
 本科

日中学院  
 本科研究科

台湾ドラマ  
 制作会社

台湾のドラマ制作兼タレントマネジメント会社の日本法人で、ドラマとバラエティ番組制作に携わっています。ドラマ制作では主に日本の漫画原作のドラマを制作しているため、日本の出版社と映像化に向けて交渉する際の台湾窓口として、制作がスムーズに進捗するための調整をしています。調整する内容は、キャスト、物語設定から、宣伝・商品化の計画、契約内容まで多岐に渡ります。また、バラエティ番組制作ではアシスタントプロデューサーとして、番組制作の環境を整える仕事をしています。タレントの出演・ギャラ交渉、スケジュール調整、スタッフ、場所の確保から撮影当日の現場通訳、車両やお弁当の用意まで、あらゆるものを準備します。このようにどちらの仕事も主に交渉・調整で、交渉相手は全て台湾人なので、『きちんと伝える』ことを心がけています。ネイティブでない部分を補うため、見やすい資料を用意したり、人脈をひろげ色々な人に根回ししてもらったりも必要です。勿論相手にされない、交渉決裂など困難にぶち当たることも多々あります。そんな時日中学院で学んだ事がとても役に立っていると強く感じます。基礎をきちんと学んだという自信があるため、拙くても自分の言葉で根気良く交渉を続けていけるのだと思います。こうして一つ一つ困難を解決していき、それが更に次の仕事に繋がっていると実感しながら日々仕事をしています。今後とも学院で学んだ基礎を基に、一步一步努力していきたいと思っています。

日本と台湾を何往復 F4ドラマ制作も  
 可米製作股份有限公司



Chūcūn Zhīmèi  
**出村 智美** 同学

日中学院  
本科

外務省

私は日中学院別科で中国語の勉強を始め、本科2年生に編入、1年間の中国留学を経て、本科研究科で学びました。

2年生の必修である短期留学は、1ヶ月間という短い期間ですが、授業のみならず日常生活でも生きた中国語に触れることができるとてもいい機会でした。また、短期留学を経験したことから中国留学への気持ちが強くなり、研究科に進む前に1年間留学したことは、研究科での学習においてもプラスとなったと実感しています。中国語の上達が実感できず、苦しい時期もありましたが、日中学院の先生方は経験豊富で、本科、別科ともにいつも熱心に丁寧に教えてくださいました。

研究科在籍時に外務省の在外公館派遣員制度に応募し、卒業後は在香港日本国総領事館で2年間勤務しました。主な業務は公用の出張者が来訪する際の空港やホテル等での支援や総領事館車の配車、庶務業務などです。その後外務省に採用となり、在青島日本国総領事館で約2年半勤務をしました。どちらの公館でも得難い経験ができ、日中学院で培った中国語を糧に大過なく勤務することができました。現在は、儀典官室で信任状捧呈式のための各国大使館と宮内庁との事務調整の仕事を主にしています。

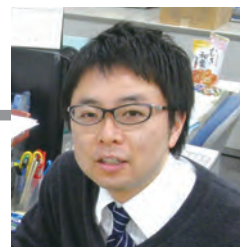
最後に、高校卒業後数年間やりたいことが見つからずにいた私が、日中学院に出会い、中国語を勉強したことは大きな転機となりました。先生方には、時には厳しく、時には優しく指導していただき、今の自分がいることに本当に感謝しています。

香港・青島領事館勤務  
外務省

日中学院  
本科

▼▼▼  
商社

Shìqí Xiánzhì  
**矢崎 賢治** 同学



私は、中国・タイ・インドネシア・ベトナムを中心としたアジアから、食品・日用雑貨の輸入を行う商社で働いています。その中で、私の担当業務は、塩蔵野菜・水煮野菜・冷凍栗等の食品を中国より輸入しています。仕事内容は、中国工場の生産管理・輸入書類作成・国内在庫管理・国内営業と、商売の流れを一通り行っています。その為、語学力だけでなく、商品・貿易・営業スキルも求められます。

中国へは、年に4回程行き、1回の滞在日数は、10日前後となります。広い中国ですので、1日で回れる工場は限られ、午前中は移動・午後商談というスケジュールを組んでいます。仕事後には、毎晩、中国会社と一緒にお酒(白酒)を飲みます。時には飲み過ぎる時もありますが、お酒は中国ビジネスにおいて重要であり、中国会社との人間関係が深まる?信頼関係が築ける?とも言われています。出張先は、河北省・山東省、浙江省・江西省・福建省で、河北省から福建省へ直接移動する時もあり、20度近くの温度差も経験しました。また、農産物を担当している為、播種・収穫時には産地視察を中心に行い、製造時には、工場の製造ライン・衛生管理の確認を行います。工場の所在地は、やはり人件費の安い地方にあり、人々の方言が多く残り、毎回、会話では苦労します…。日本での仕事でも、中国会社と電話・メールを行い、中国語とは切っても切れない生活となります。

現在、中国では富裕層が増え、これまでの世界の工場から世界の市場へと変化をしています。今後は、輸出事業へのチャレンジをし、中国ビジネスを極めたいと思います。

中国貿易に奔走  
株式会社テンダイ



Sānpǔ Xuě  
**三浦 雪** 同学

日中学院  
本科

▼▼▼  
雑誌社

中国国営の雑誌社で、対外連絡・経理業務に従事しています。特に、取材対象者と中国人記者の間に入り、アポイントメントをはじめ様々な交渉を任されています。中国企業では、急な依頼や変更が発生することも多く、日々柔軟な対応が求められます。以前は日本の企業に勤めていましたが、ここでは日本の常識では考えられないようなイレギュラーが発生することもあるため、困惑することもあります。これが文化の違いなのだと思えば勉強になるところもたくさんあります。

中国の政治・経済・文化に関する情報を日本語で日本の読者に届ける会社なので、社内の中国人スタッフはみなさん日本語が上手です。しかし、母語を話す方が手取り早いので、私への業務連絡は9割が中国語になります。取材対象者は政治・経済の専門家が多いので、日中学院の聴解の授業で毎日のようにニュースを聞いていなければ聞き取れないような時事単語が、スタッフとの会話の中にも頻繁に出てきます。学生の時は、そんな専門的な言葉を使う機会はないだろうと高をくくっていましたが、実際には実践レベルで役に立っています。聴解の授業で培われた「聴力」「語彙力」は、いまの私の中国語力の土台となっています。

社内のコミュニケーションは中国語  
中国国営雑誌社

## 附帯教育 別科

■**昼間講座** 午前 10:00～12:00 / 午後 13:30～15:30  
(16:00～18:00)

■**夜間講座** 夜間 18:45～20:45

入学時期：4月、7月、10月、1月（随時入学可）

入学資格、入学試験：なし

修了年限：1～3年（申し込みは3ヶ月毎）

別科では学生から社会人、主婦の方までさまざまな人が学んでいます。学習の動機も将来の就職に備えて、仕事上の必要から、趣味として、などいろいろです。

講座は週1～2回、時間帯も上記からご都合に合わせて選べます。基礎課程では、「聞く」「話す」に重点を置き、発音から基礎文法を固め、応用課程以上では興味のある分野、苦手な分野に的をしぼって講座を選択できます。

中国語が初めての方から学習経験のある方まで自分のレベルに合ったクラスが見つかるでしょう。

## 日本語科

■**日本語科（中級コース）**

時 間 月～金 13:30～17:30

入学時期 4月、10月

修了年限 2年、1年半

入学資格

- ① 中華人民共和国の国籍を有する者
- ② 学校教育12年の課程を修了した者
- ③ 中国の日本語教育機関で150時間程度日本語を学習した者
- ④ 書類提出時30歳未満の者

日本語科は、1986年4月に中国の留学生を対象に設立されたコースです。日本語の基礎を習得した人が、日本語の能力を更に伸ばすための授業を行なっています。また、都内見学、バス旅行、交流会など、日本を深く知るための活動を定期的に行います。卒業生は、大学、大学院などへ進学し大きな成果を収めています。

### 週1～2回、入門から通訳まで70を超える多彩な講座!!

#### ■講座紹介（一部）

##### ●基礎課程

発音から基礎文法習得

- 昼間、夜間週2 「1-1」「1-2」
- 昼間、夜間週1 「2-1」「2-2」
- 土曜週1 「3-1」「3-2」

##### ●応用課程以上

弱点の克服、分野別のレベルアップ

- 昼間週1 「ステップアップ」「会話」
- 夜間週1 「リスニング」「基礎まとめ」
- 「作文」「講読」「古典」
- 「通訳」「ガイド」他

その他に中国語検定2級、HSK6級対策や春期・夏期集中講座、1日集中講座もあります。

授業見学随時可 レベルチェック要予約

別科(特別講座を除く)在籍者の方が本科に合格すると入学金が半額になります。



東京都専修学校専門課程認可  
公益財団法人日中友好会館



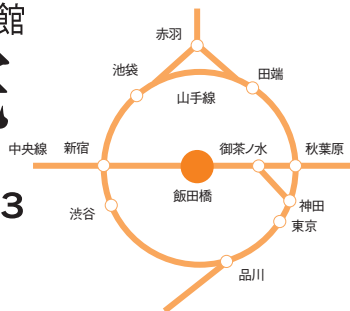
〒112-0004 東京都文京区後楽1-5-3

☎03(3814)3591

FAX 03(3814)3590

<https://www.rizhong.org/>

E-mail:info@rizhong.org



- JR総武線東口、東京メトロ有楽町線、東西線、南北線飯田橋駅 A1出口より6分、都営地下鉄大江戸線飯田橋駅C3出口より2分
- 都営地下鉄三田線A2出口、JR総武線水道橋駅西口より8分
- 東京メトロ丸ノ内線、南北線後楽園駅2番出口より7分